

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

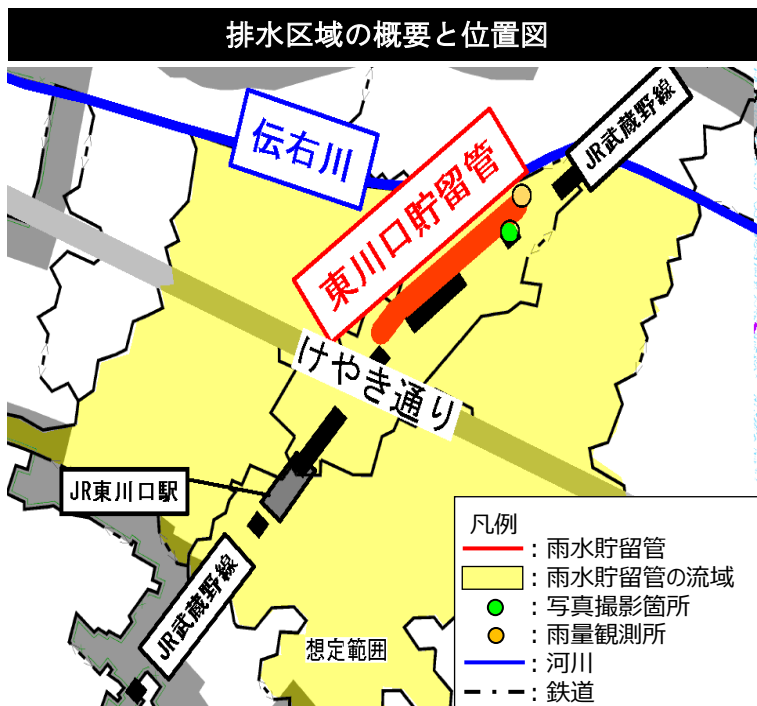
2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

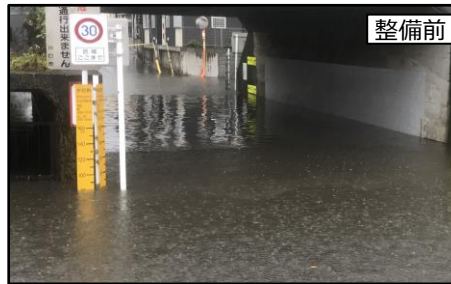
(2) 災害関連情報の予測、収集・集積のデジタル化等の推進

# 雨水貯留施設の整備により、浸水被害を軽減する（埼玉県川口市）

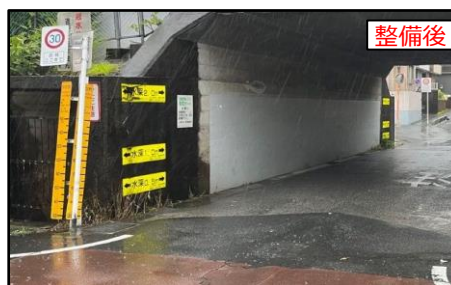
事業者：埼玉県川口市



## 効果



令和2年8月の大雨



令和5年梅雨前線による大雨

## 対策名：1-2 流域治水対策（下水道）



**主たる施策グループ：** 1-4 突発的又は広域的な洪水・高潮に伴う長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生（ため池の損壊によるものや、防災インフラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱な防災能力の長期化に伴うものを含む） **下水道**

## 事業名：東川口貯留管の整備

- ポイント**
- 浸水被害を軽減するための雨水貯留管の整備
  - 過去に道路冠水が発生した箇所において、大雨による被害を防止

### 地域の概要・課題

対象地区は川口市の北東部に位置しており、東西に横断するJR武蔵野線の影響で、周辺道路には複数のアンダーパス（前後区間と比べて急激に道路の高さが低くなっている区間）があります。

近年の急激な都市化や、多発している集中豪雨の際には、地形的な要因も影響し、度々道路冠水が生じていました。

### 効果

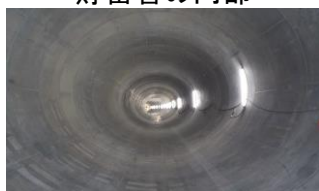
JR東川口駅周辺の高架下付近では、令和2年8月の大雨（39.0mm/h）により浸水深80cmの道路冠水が発生しました。

令和5年梅雨前線による大雨（40.5mm/h）では、貯留管が約3,600m<sup>3</sup>の雨水を貯留したことで、同じ箇所でも道路冠水の被害は発生せず、浸水被害が軽減されました。

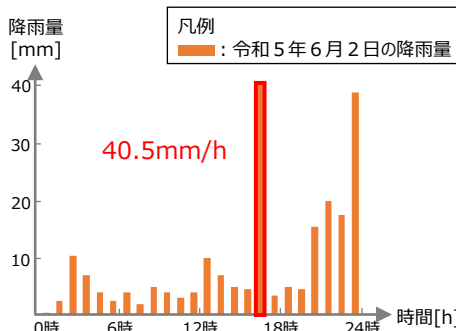
### 事業の概要

浸水被害を軽減するため、東川口貯留管（直径φ4,650mm、長さL=418m、貯留量V=7,100m<sup>3</sup>（小学校のプール約20杯分））を道路の下に整備し、令和5年3月に供用開始しました。

貯留管の内部



### 令和5年梅雨前線による降雨量



### 事業の効果

